

特別支援教育推進委員会 ニュースレター



お久しぶりです。特別支援教育推進委員会です。月日が経つのは早いもので、あっという間に12月「平成最後の冬」を迎えてしまいました。子どもの領域について知って頂けたらと思い、ニュースレターを通して、私たちの活動をご報告してきました。これからも、活動について知っていただけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。

10月は、研修会の開催 11月は、県学会で作業活動・遊具等の体験・紹介

を実施するなどの活動を行いました！！

うめだ・あけぼの学園で作業療法士をし、日本作業療法士会の理事でもある酒井康年先生を講師としてお迎えし、「"あそび"をとおして子どもの生きる力を育む」ことをテーマに、お話をいただきました。午前是一般向けで、様々な職種の方々にご参加いただきました。特に保育士の方が多い様でした。講師の臨床経験を交えながらのお話は、分かりやすく、楽しく、好評でした。療育・発達支援は、子供らしさを大事にしなが、言葉や環境の工夫が大事であることを改めて学ぶことが出来た研修会でした。

午後は、OT向けで感覚統合を中心とした治療手段についてのお話でした。遊びを選択する上で、内的欲求の充足の3段階から4つの遊びの要素を選択し組み合わせ、遊びながら治療を行っていくことが、OTならではの支援であり、重要であることを再認識できた研修会でした。



県学会では、特別支援・学童保育の作業活動、遊具等の体験・紹介コーナーを開設しました。様々な領域の士会員の皆様が、コーナーに立ち寄って下さいました。ありがとうございました！！

展示したのは、パズルや積み木などの多様な遊具、自助具等でした。塗り絵作品、ボディペインティング、段ボール遊び、重度の障害を抱えている子どもに対しての眼球運動でPCを操作できる機器やスイッチで操作できる電動車椅子等もスライド写真で紹介しました。



コンサルテーションは作業療法です！！地域で働く作業療法士必見！
発達分野のコンサルテーションスキルを学びたい方におススメです。

